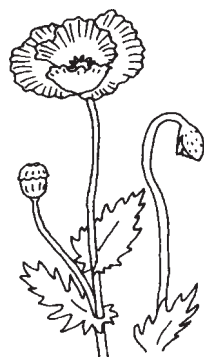


市民アンケートにご協力ください

日本共産党羽村市議団と鈴木たくや事務所では、市民アンケートを行っています。アンケート用紙は、受取人払いの水色の専用封筒にいれ、切手を貼らずに郵便ポストに投函してください。また、市議団のホームページからも回答できます。



市議団ホームページアドレス <http://www.jcphamura.org/>

すでに多くの方々から、アンケートが寄せられています。皆さんの声の一部を紹介します。

あなたの暮らしは？

今年、子どもが生まれ、来年保育園。払うお金が増す一方で、生活が苦しくなることが目に見えて、とても不安。

年金額の改定通知書が届き、毎年年金額が少なくなってきました。65歳以上なので、介護保険料も支払うようになり、住民税、都民税、下水道料金も上がり、今健康でいるが、今後医療費などに、かかりが心配。

消費税増税は？

・低所得者は増税されればなおさら生活が苦しくなる。
・母親が介護施設にいるが、都からの援助費がカットされた。これ以上増税されれば、生活できなくなってしまいます。

長年一生懸命真面目に働いても貧乏人です。小売業でしたので、年金は少しです。これ以上の増税は反対。

子育て支援・教育

保育料を少しでも減らしてくれたら、もう一人産むお金もできるし、家の為に働きに出ても、保育料で半分もなくなったら、生活は苦しいばかり・・・。

学校の先生が疲れています。市場原理の競争主義が教育にもちこまれれば良くなると思っているところに、大きな誤りがある。

無料法律相談

7月11日(火)午後1時半～

コミュニティセンター2階

*要予約 市議団へ連絡を

中原まさゆき TEL 554-1163

高橋 みえ子 TEL 555-1911

市川 えい子 TEL 554-1140



羽村民報

2006年6月25日 No. 805 日本共産党羽村市議団のホームページ
発行 羽村民報編集委員会 <http://www.jcphamura.org/>
責任者 野崎 衷 市議団控室 電話/FAX 579-1163

6月定例議会での中原まさゆき議員の一般質問の要旨をお知らせします

羽村市ホームページの充実を

インターネットもブロードバンド時代となり、羽村市でも昨年8月から、NTTの光通信が可能となりました。羽村市のホームページは多くの人に閲覧されています。中原議員は、市ホームページを市民に親しみやすくより充実したものにしよう市長に求めました。

テレビはむらの映像をインターネットで配信してはどうか

中原 テレビ羽村は1日3回の放映で毎週木曜日に更新しているが、いつでも見られるわけではなく、過去に放映したものなどは、市の広報広聴課でビデオテープと交換すれば手に入るが、一般の人にとって、わざわざ市役所まで行くのも大変。いまは、ほとんどの家庭のパソコンでインターネットを見ることができて、その多くがブロードバンドとなっている。インターネットで配信できるようにすれば、より多くの人に親しまれるようになるのでぜひ検討を。

市長 インターネットにより映像を配信するためには、市のサーバーから外部へのデータの出入り口に当たるポートを増設する必要があるが、それに伴い外部からの不正アクセスも考えられることから、その脆弱性(ぜいじゃくせい)を補うセキュリティ対策と映像の安定配信のための条件整備が必要となる。今後、市民のインターネットの接続環境を見据えながら、映像配信に必要な条件整備について検討していきたい。

音声案内、BGM、公務日誌公開など内容の充実を

中原 インターネットでの不要品交換の登録、市長の公務日誌の公開、音声案内やBGMなど、コンテンツの充実をしてはどうか。

市長 不要品交換の登録については、以前消費者センターで実施し、登録内容を「消費生活センターだより」に掲載し、仲介していたが、平成14年度をもって廃止した。最近では、民間及び個人間でインターネット上での不要品交換が増加している傾向にあるので、市が改めて不要品交換の登録を行うことは考えていない。また、私の公務日誌の公開については、公務の日程を秘書課窓口で公表しているので、現在のところ、ホームページに掲載する考えはない。市では、本年4月30日に、「ホームページ閲覧支援ソフト」を導入したので、音声案内についても対応可能となっている。市のホームページのコンテンツの充実やBGMなど表現手法については、今後、日々進歩していくIT環境を見据えながら、ホームページを更新していく中で検討していきたい。

